

# 平成27年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会 参加報告

愛知県学校薬剤師会 樋口光司

平成27年11月12日(木)、13日(金)。宮崎県シーガイアコンベンションセンターにおいて表記の協議会が開催され、参加する機会を得ましたので報告します。

この協議会は文部科学省と持ち回りの各都道府県・市教育委員会及び学校保健会。他持ち回りの県・市薬剤師会等の主催で行われる全国規模の大会です。

参加対象者は学校の教職員、学校三師および教育委員会の学校保健担当者等です。学校薬剤師以外にも多数参加する全国規模の大会であり、内容も充実していて私も高く評価している大会の一つではありますが、平日開催ということで学校薬剤師にとってなかなか気軽に参加出来ないところが残念です。

- 10:00 開会式(全大会)
- 10:30 講義Ⅰ 「現代的な健康課題に対応した健康教育の考え方」  
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課  
健康教育調査官 小出 彰宏
- 13:00 講義Ⅱ 「薬物乱用防止教育：考え方と進め方」  
兵庫教育大学大学院学校教育研究科  
学校心理・発達健康教育コース 教授 西岡 伸紀
- 14:30 特別講演 「心の健康教育の必要性“うつ”を中心に」  
東邦大学医学部 精神神経医学講座 教授 水野 雅文
- 二日目 部会別分科会 9:30～12:00
- 第1分科会 学校環境衛生活動部会  
研究主題 「学校環境衛生基準」に基づく学校環境衛生活動の進め方や当面する諸問題  
発表1 衛生的な学校環境を構築していくための取組  
～組織的な環境衛生活動に向けて～  
宮崎県立宮崎大宮高等学校 教諭 飛高 浩司  
発表2 学校薬剤師1年目の視点から学んだこと、感じたこと  
～宮崎市郡薬剤師会の学校薬剤師活動～  
(一社)宮崎市郡薬剤師会 学校薬剤師部会 永井 啓太
- 第2分科会 医薬品に関する教育部会  
研究主題 医薬品の適正使用に関する教育の進め方や当面する諸問題  
発表1 生徒保健員会活動で取り組む医薬品の教育  
～セルフメディケーションの実践力を育てるために～  
福岡県立門司学園高等学校 養護教諭 香田 由美  
発表2 「ちょっと受けたい薬の授業」 ～薬育隊の取り組み～  
(公社)大分県薬剤師会 学校保健委員会担当 佐藤 英隆

- 第3分科会 喫煙、飲酒及び薬物乱用防止教育部会  
 研究主題 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方や当面する諸問題  
 発表1 定時制高校における薬物乱用防止教育の試み  
 ～「みんなでなくそう！！薬物乱用！！」生徒の主体的な活動を取り入れて～  
 兵庫県立尼崎稲園高等学校 養護教諭 赤井 育代  
 発表2 田川薬剤師会における薬物乱用防止教室への取り組みと効果  
 ～システム構築で、効果の見える化を追求する～  
 (公社)福岡県薬剤師会 常務理事 田中 洋介
- 第4分科会 学校保健委員会部会  
 研究主題 学校保健委員会の活性化や当面する諸問題  
 発表1 学校保健委員会を活用した効果的な健康教育の推進  
 ～学校薬剤師と連携した取組～  
 宮崎県都城市立五十市小学校 養護教諭 前原 千恵  
 発表2 学校保健委員会における学校薬剤師の役割  
 ～顔の見える学校薬剤師への期待と課題～  
 (公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 佐々木 吉幸

今回、私は第2分科会 医薬品の適正使用に関する教育の進め方や当面する諸問題について協議する会に参加しました。

学校薬剤師に求められる仕事の内容も、学校保健安全法になってから、学校環境衛生基準の完全達成をより厳しく求められているのが現状です。学校薬剤師の基本的仕事として衛生管理が最も重要であります。大麻・危険ドラッグ等の問題が社会的にも大きくクローズアップされ、薬物乱用防止教育も注目されています。そのような状況のなかですが、私は子供たちの生涯を通して「正しいくすりの使い方」を義務教育の間にキチンと習得していただくことも忘れてはならない重要なことと考えています。そのような観点から第2分科会へ参加しました。

発表は二題とも素晴らしいものでした。特に一題目の～セルフメディケーションの実践力を育てるために～の香田先生のお考えには共感を覚えました。子供達へ望むことは、最終的には自分で考え、自分で決定して、自分で行動できる人になってもらいたいわけです。そのためには、ライフスキル教育もとても大切です。私は、その中でもセルフエスティーム(健全な自尊心)を最も重要な要素として考え、子供たちに伝える努力をしています。自分が大切な存在だから、タバコ、酒、薬物は絶対やらない。自分が大切だから薬は適切に用法・用量を守って服用する。学校薬剤師はそのために、ほんの少しお手伝いをする。

会場では、フロアーからの質問も素晴らしいと思いました。質問者の皆さんも学校において当然、薬物乱用防止教室で講師を務められている様子でした。日本中の全ての学校がこうなれば良いのにと真剣に思った次第です。私も手を上げて愛知県の現状をお知らせしておきました。実際に学校へ出向いているのは2割。まだまだの数字です。でも、学校から依頼されたら8割の人が対応したいと思っているのが現状であることを。全ては子供たちの笑顔のために。頑張ります。